

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

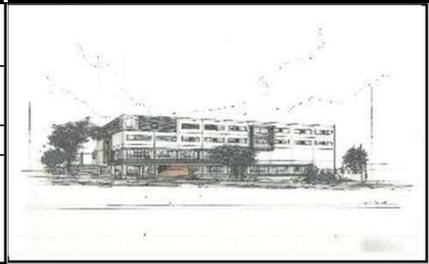
CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)札幌美しが丘脳神経外科病院 新築工事	階数	5
建設地	札幌市清田区真栄4条5丁目127-9、128-5	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種低層住居専用地域	平均居住人員	100人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
竣工年	2020年5月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	4,109 m ²	評価の実施日	2018年12月25日
建築面積	1,448 m ²	作成者	
延床面積	5,178 m ²	確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.2

3 設計上の配慮事項			
総合 羊ヶ丘通り側に建物を配棟し、戸建住宅側へ圧迫感を与えないよう配慮した。		A 省エネルギー 節水型衛生器具の採用。省エネ法届出済。	
B 省資源等		D 雪処理 敷地内で除排雪。一部ロードヒーティング敷設。	
C 緑化 「札幌市緑の保全と創出に関する条例」に定められた緑化率20%を確保。			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)
 (仮称)札幌美しが丘脳神経外科病院 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居-宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル		各病室間に遮音グラスウール充填		3.0	0.40	5.0	0.40	2.2
1.2 遮音				1.8	0.40	1.6	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				1.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	1.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境								
2.1 室温制御				2.7	0.50	2.5	0.50	2.8
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		省エネ		2.0	0.25	2.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
				2.0	0.25	2.6	1.00	
3 光・視環境								
3.1 昼光利用				1.8	0.30	1.8	0.30	2.1
1 昼光率				1.0	0.60	1.0	0.60	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備		省エネ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		省エネ		1.0	1.00	3.0	1.00	
2 映り込み対策					-		-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境								
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63	3.0
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気				2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量				1.0	0.50	1.0	0.33	
2 自然換気性能					-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視					-		-	
2 喫煙の制御		敷地内全域禁煙		5.0	1.00		-	

Q2 サービス性能				0.30	-	-	3.0	
1 機能性				3.3	0.40	3.6	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応					-		-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	4.5	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)		病室天井高: 2.7m			-	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-		-	
3 内装計画		内装計画と照明計画をデザイン担当が一体で計画。		4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源			3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源			3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	省資源			2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.8	0.30	2.7	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	3.4	0.50	
1 階高のゆとり		階高: 4.0m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.25	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.25	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.13	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.13	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.25	-	-	
6 バックアップスペースの確保			-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.1
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	内断熱。外壁:ウレタン吹付t50	5.0	0.25	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.90	2.5	0.63	-	-	2.5
4 効率的運用			-	-	-	-	
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	躯体と仕上材の分別可。配線等の埋設不可。	5.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	省資源	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	省資源	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.2
1	地球温暖化への配慮	省資源	一般的な建物と同等	3.3	0.33	-	3.3
2	地域環境への配慮			1.9	0.33	-	1.9
2.1	大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	省資源 熱化 蓄熱		1.0	0.50	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	札幌市雨水流出抑制に関する指導要綱に則った設計。	4.0	0.33	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	-	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.33	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 電処理		1.0	0.33	-	
3	周辺環境への配慮			1.6	0.33	-	1.6
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	
1	騒音			-	-	-	
2	振動			-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.67	-	
1	風害の抑制			1.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制				-	-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	
3.3	光害の抑制			1.6	0.33	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

1 建物概要

建物名称	(仮称)札幌美しが丘脳神経外科病院 新築工事	BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物用途	病院				
延床面積	5,177.7 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★☆	レーダーチャート ★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★☆☆☆☆	
	雪処理	★☆☆☆☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 23.1 最低点 6)		合計 13.9点 /23.1点	
Q1 温熱環境	スコア 0.4 /1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 5.0 /5.0
Q1 光・視環境	スコア 0.7 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.5 /2.5
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 6.3 /12.5
		LR1 効率的運用	スコア 0.0 /0.0
B 省資源等 (最高点 23.9 最低点 7.7)		合計 12.7点 /23.9点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.5 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 /1.9
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.3 /5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 1.7 /4.6
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計 3.5点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 1.2 /6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3		
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計 0.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数